

第 133 号

Super Highway

春闘速報 20

発行日
2024. 3.18

J R 東労組バス関東本部

申 3 号 第 2 回団体交渉 要旨④

組合) 65 歳定年制について、どうかんがえているのか

会社) 定年制に限っての話。そもそも法の話は、65 歳定年制をひくか、65 歳まで再雇用するかというものなので、抵触しているとは思っていない。現行の 65 歳の契約延長をきちんと生かしながらやっていくという認識は変わっていない。

組合) 21 春闘について、貴側はそのときの時代背景であると言っている。例えば、それを私たちが全て忘れてしまったといっても、生涯賃金に関わってくる。48 億の赤字だったのはわかるが、私たちの努力によって黒字が回復していくのであれば、その点を考慮した中で元に戻るならベアでの、積み立てのようなものを考えていってもらえないか。

会社) 回答はいつもと変わらない。2/4 をどこかで償還するという考えは持っていないし、何度も言うけど将来にわたって償還するという考えは持っていない。21 年の状態と 24 年の状態は比較にならない。その時その時の交渉経緯である。

組合) 会社へ入ってくる人が見るところは決まっている。今の若い世代は、この仕事に就きたいと入ってくるよりは、内容・賃金・職場環境、こういう春闘で賃上げしていくなかで魅力付けしていければと考えている。いま生活の中で、子供を育てるにも高齢の方も増えている。内容についてはこれから議論していいものになってほしいが、もっと未来を見られるような、夢を見させてほしい

会社) 皆さんのいろいろな期待感は、それぞれかもしれない。けれど、その期待に応えるというのは簡単ではないかもしれない。それでも、うちの会社に居てよかったと言ってもらえるようにしていきたい。

組合) 他社の求人広告よりも安いのは残念。

会社) そういう話を聞くのが残念なのは同じ。そうならないようにやっていきたい。

J R バス 関東で働く仲間を一つに!